

# 中央区 平成26年(2014年)8月

# まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

## 第11号

## 1 平成26年度(2014年)第1回総会の概要について

中央区では、「地域が主役のまちづくり活動」を実践するため、平成22年度より「中央区まちづくり会議」を設置し、さまざまな情報提供や意見交換を行っています。

去る6月6日には今年度第1回目の総会が開催され、始めに中央区市民部長から、これまでの中央区まちづくり会議の取組の振り返りと、平成26年度からはこれまでのテーマであった「地域防災」に加え「市電を活かしたまちづくり」を新たなテーマに加えることなどについて説明がありました。

今年度は、年2回の総会を開催するほか、各テーマごとにそれぞれ所属を希望する連合町内会や各関係機関を構成員として「地域防災部会」と「市電部会」を設けて活動していきます。

### ① 平成26年度 地域防災部会の活動予定(案)

テーマ 「地域防災」

～「避難所運営体制づくり」についての  
意見交換・情報共有～

部会目的・検討内容

- 市民が主役となった地域防災体制づくり
- 当面の目標・・・避難所運営体制づくり

#### ●第1回：7/4(金)

- 基調講演
- 避難所マニュアルの取組順検討他

#### ●第2回：10月頃

- 取組順の検討・H26取組校の確認
- 宮の森小(モデル校)の進捗状況の共有
- マニュアル作成の手引き案

#### ●第3回：平成27年2月末頃

- H26取組状況とH27取組の確認

### ② 平成26年度 市電部会の活動予定(案)

テーマ 「市電を活かしたまちづくり」

部会目的・検討内容

- 市電ループ化等に伴う中央区及び地域の活性化について
- (平成27年度以降)地域団体、企業、NPO、学校、行政の連携による地域資源としての市電の活用について

#### ●第1回：8/1(金)

- 市電ループ化の進捗状況の説明他

#### ●現地視察：9月～10月頃

- 新型低床車両に乗車～車中から沿線視察

#### ●第2回：11月頃

- 市電・沿線関係のイベントや取組などについての説明他

#### ●第3回：平成27年1月頃

- 年間活動と市電ループ化に伴う中央区及び沿線地域の活性化についてのまとめ

## 2 平成26年度第1回地域防災部会の概要について

7月4日(金)に平成26年度中央区まちづくり会議第1回地域防災部会が開催されました。

部会の発足記念として、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 天野和彦氏を講師に招き、「あの時避難所は…『おだがいさま』が支えた 169 日間～普段からの避難所運営体制づくり～」をテーマとした基調講演が行われました。

### 普段準備している以上は絶対にできないんです！

岩手県大船渡市赤崎町は、発災後数日間、地域内の高台以外津波で浸水し、孤立した。自衛隊、消防、警察のだれも救助に入れず、最初に救援に入ったのは、ヘリコプターで空から来た米軍だった。それほど赤崎地区は大変だった。その中で、彼らは自分たちで助け合って生活をしていた。そして住民の中に妊娠中の人 がいて衛生面に配慮しようと、なんと自分たちで即席のお風呂まで作っていた。

これは、過去にチリ地震による津波の被害を受けており「津波に備えろ」と言 い伝えられ、チリ地震を経験した人がリーダーとなり、今日まで“命をかけて防 災訓練をやってきた”からできたことだった。赤崎地区では、震災後約 1 か月 後には防災訓練を実施していた。普段準備している以上のことは絶対にできない ということ、赤崎地区の経験が示していると思う。



講師：天野 和彦氏

### 交流の場の提供と自治活動の促進が避難所運営の軸

ビッグパレットふくしま避難所では、コミュニティーが崩壊した中で、どうやって避難所運営をするか本 当に困った。新潟県の中越地震を経験した自治体職員のアイデアから足湯とサロン(喫茶)を交流の場と して避難者の自治活動を生むことができた。ある日避難所運営職員がドリップ式の道具の使い方が分から ず苦闘しているところへ中年男性が近寄ってきて無言でコーヒーを作り始めた。そのうち男性は「マスタ ー」と呼ばれ、掃除などお手伝いする人もでてきた。やがて避難所内に喫茶店が3店舗できた。すべて住 民の自主運営。役所は環境を整えることはできるが、避難所の自治を作っていくのは市民の皆さんの役割。

講演会后、区内13地区の防災担当役員等が集まり会議を開催しました。区役所からの事業説明、 仙台市の取組事例の動画を視聴し、取組趣旨や以下の取組方針を確認しました。

基幹避難所を優先して運営体制づくりを行い、その後地域避難所へ取組を広げていく

平成26年8月上旬に区内自主防災組織及び町内会・自治会へ取組希望調査を実施

取組希望調査の結果、基幹避難所の防災対策整備状況などを踏まえ取組順を部会で検討

自主的に地域避難所の運営体制づくりを進められるよう取組方法の手引きなどを提供する予定

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-205-3205 FAX011-261-2991